

青森産技 プレスリリース

AITC Press release 2019.01.08



あおもりの未来、技術でサポート

地方独立行政法人 青森県産業技術センター
水産総合研究所

★組織名称の表記についてのお願い

地方独立行政法人青森県産業技術センターは県庁の組織ではありません。
地方独立行政法人青森県産業技術センターの名称を省略して表記する場合には、地方独立行政法人であることが明確に分かるよう、『(地独)青森県産業技術センター』又は、当センターの略称『青森産技』をお使いくださるようお願い申し上げます。

また各研究所の表記につきましても、「県〇〇研究所」ではなく、「(地独)青森県産業技術センター〇〇研究所」、又は「青森産技〇〇研究所」と表記してくださるようお願いいたします。

「平成30年度青森県水産試験研究成果報告会」を開催します！

水産部門及び食品加工部門の研究成果について、関係機関及び一般県民に紹介するための報告会を下記のとおり開催します。

記

- 1 開催日時 平成31年1月24日(木) 9:00～12:30
- 2 開催場所 ラ・プラス青い森 2階 メープルの間 (TEL:017-734-4371)
- 3 参集範囲 県内水産関係団体、県内市町村、県関係機関、県海区漁業調整委員会事務局、青森県栽培漁業振興協会、浅虫水族館、(地独)青森県産業技術センター他
- 4 内 容
 - (1) 10年後を見据えた効率的なホタテガイ半成貝生産方法の検討
(水産総合研究所 ほたて貝部 研究員 小泉 慎太郎)
 - (2) 北限漁場小川原湖におけるニホンウナギの生態解明
(内水面研究所 調査研究部 研究員 松谷 紀明)
 - (3) 青森県におけるサワラ曳釣・延縄漁業の開発
(水産総合研究所 資源管理部 研究員 田中 友樹)
 - (4) サワラ鮮度保持試験について
(下北ブランド研究所 加工技術部 研究員 宮部 好克)
 - (5) 蛍光 HPLC による ホタテガイ下痢性貝毒の分析
(水産総合研究所 漁場環境部 研究員 扇田 いずみ)
 - (6) マコガレイ種苗生産の省力・省コスト化に向けて
(水産総合研究所 資源増殖部 研究員 村松 里美)
 - (7) イカ類の取扱いによる品質の違いについて
(食品総合研究所 水産食品化学部 研究員 竹内 萌)

【問い合わせ先】

水産総合研究所 企画経営監 菊谷 尚久

〒039-3381 東津軽郡平内町大字茂浦字月泊10 TEL:017-755-2155

平成 30 年度青森県水産試験研究成果報告会

日時：平成 31 年 1 月 24 日(木)

場所：青森市 ラ・プラス青い森 2 階 メープル

プ ロ グ ラ ム

- | | | |
|-----|------------------------------|-------------|
| 1 | 開 会 | 09:00 |
| 2 | 開会挨拶 | |
| 3 | 研究成果報告 | |
| (1) | 10年後を見据えた効率的なホタテガイ半成貝生産方法の検討 | 09:10~09:35 |
| | 水産総合研究所 ほたて貝部 研究員 小泉 慎太郎 | |
| (2) | 北限漁場小川原湖におけるニホンウナギの生態解明 | 09:35~10:00 |
| | 内水面研究所 調査研究部 研究員 松谷 紀明 | |
| (3) | 青森県におけるサワラ曳釣・延縄漁業の開発 | 10:00~10:25 |
| | 水産総合研究所 資源管理部 研究員 田中 友樹 | |
| (4) | サワラ鮮度保持試験について | 10:25~10:50 |
| | 下北ブランド研究所 加工技術部 研究員 宮部 好克 | |
| | <休 憩> | |
| (5) | 蛍光 HPLC によるホタテガイ下痢性貝毒の分析 | 11:00~11:25 |
| | 水産総合研究所 漁場環境部 研究員 扇田 いずみ | |
| (6) | マコガレイ種苗生産の省力・省コスト化に向けて | 11:25~11:50 |
| | 水産総合研究所 資源増殖部 研究員 村松 里美 | |
| (7) | イカ類の取扱いによる品質の違いについて | 11:50~12:15 |
| | 食品総合研究所 水産食品化学部 研究員 竹内 萌 | |
| 4 | 閉 会 | 12:30 |